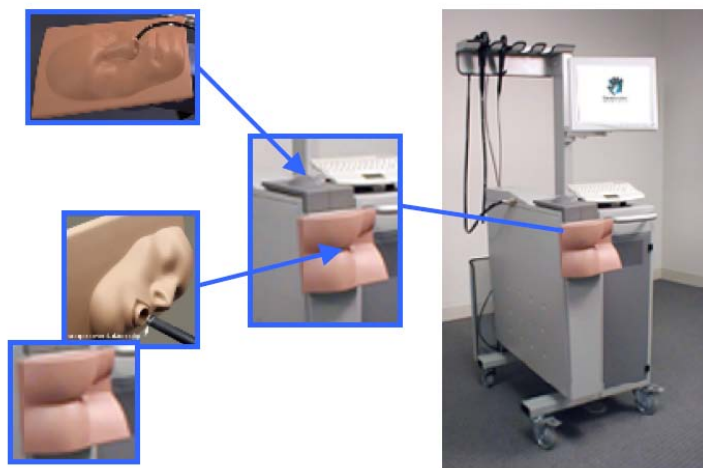
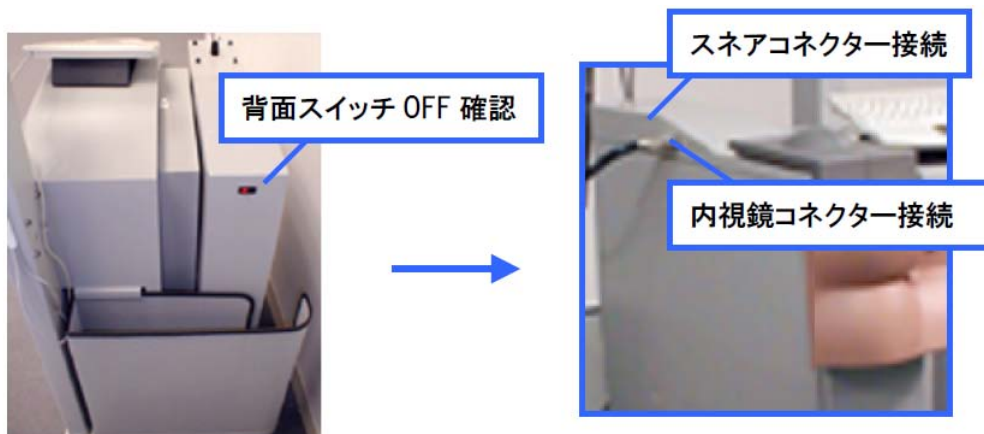
新モジュールの導入により、
利用手順が一部変更になりました！

アキュタッチ簡易取扱説明書

Ⅰ 開始手順

1. 本体電源のコンセントを入れ、シミュレータ本体へアナトミープレートをセットする

2. シミュレータ本体の前面扉を開け、PCの電源スイッチを押す

3. シミュレータ本体の背面電源がOFFになっていることを確認し、使用する内視鏡を接続、必要であればスネアも接続する

4.　画面上にWindowsデスクトップが表示されるので、
EndoVRをクリックし、起動させる。

※従来のモジュールアイコンをクリックしても起動しますが、

一回り小さい画面表示になります

5.　個人IDとPasswordを それぞれ入力する

※ID/PW を忘れた場合、新規に取得を希望する方は
医療教育統合開発センターへご連絡下さい

6. ‘My CURRICULUM’タブをクリックするとシミュレーション可能なソフトウェア一覧が表示される

新規モジュール　：

超音波気管支鏡ガイド下針生検（EBUS-TBNA)

上部消化管出血処置（GI Bleeding)

従来モジュール　：

気管支内視鏡検査（Bronchoscopy Modules)

上部消化器内視鏡検査（Upper GI Modules)

下部消化器内視鏡検査（Lower GI Modules）

※EBUS-TBNAモジュール、UGIモジュールを使用する場合にはケースを選択し、画面右下の’START SIMULATION’をクリックするとソフトウェアのローディングが開始される（所要時間約1分）

※従来モジュールを使用する場合はID/PWの入力画面に移行後、再度個人ID/PWの入力が必要。メニュー、ケースを選択しながら’CONTINUE’をクリック、ソフトウェアのローディングが開始される（所要時間約10秒）

Ⅱ 利用時の注意事項

ローディングが終了し、トレーニング画面へ移行するまでは、画面の指示に従ってシミュレータ本体へスコープを挿入しないで下さい。シミュレータ本体からスコープチューブが抜けなくなり破損につながります。

気管支内視鏡のスコープヘッドとチューブの接続部分を曲げないように注意してご利用下さい。生検トレーニングの処置具の利用に問題が生じる可能性があり、ワーストケースで接続部分が切断する恐れがあります。

Ⅲ　終了手順

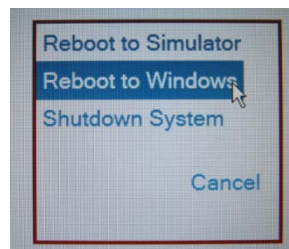
1.　モジュール別　終了方法

●EBUS-TBNA, UGI（新規モジュール）
画面右下に表示された’END SIMULATION’をクリック

●Broncho, Upper GI, Lower GI　（従来モジュール）
画面右下に表示された’EXIT’をクリック

以下共通

2.　EndoVRを終了させるため、右下に表示された’EXIT’をクリック

3.　その後、画面中央に表示されたWindowに表示される‘Reboot Windows’をクリック

※　違うメニューでシャットダウンしてしまうと、次に利用する際の立ち上がり画面が異なってくるため、必ず’Reboot Windows’を選択すること

4．　Windowsが再起動し、デスクトップの画面に戻る

5．　WindowsのデスクトップStartメニューからTurn Offを選択し、システムを終了させる

6．　本体電源コンセントを抜く